

海外経済

		2020年3月	2020年4月
世界経済		<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、<u>経済活動が抑制されており、足下で急速に減速している。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれ、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、<u>急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、<u>感染症の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は下押しされている。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれる。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、<u>景気は、感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、<u>感染症の影響により、経済活動の大幅な縮小が生じており、足下で景気は減速している。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響が薄らいでいくことが期待されるが、感染症の影響が長期化する場合には、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響に留意する必要がある。</p>	<p>中国では、<u>景気は、感染症の影響により、引き続き厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きもみられる。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響が薄らいでいくことが期待されるが、感染症が国内外の経済に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響に留意する必要がある。</p>
	その他アジア	<p>その他のアジア諸国・地域においては、<u>感染症の影響により、経済活動が抑制されており、景気が下押しされている。</u> 韓国では、<u>足下で景気は弱まっている。</u>台湾では、<u>足下で景気回復は緩やかになっている。</u>インドネシアでは、<u>景気回復は緩やかになっている。</u>タイでは、<u>足下で景気は弱まっている。</u>インドでは、<u>景気は弱い動きとなっている。</u></p>	<p>その他のアジア諸国・地域においては、<u>感染症の影響により、経済活動が一段と抑制されている。</u> 韓国では、<u>景気は下押しされている。</u>台湾では、<u>景気は下押しされている。</u>インドネシアでは、<u>景気は下押しされている。</u>タイでは、<u>景気は大幅に下押しされている。</u>インドでは、<u>景気は大幅に下押しされている。</u></p>
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、<u>感染症の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は弱い動きとなっている。</u>ドイツにおいても、<u>足下で景気は弱い動きとなっている。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれる。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>ユーロ圏では、<u>景気は、感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</u>ドイツにおいても、<u>景気は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	英国	<p>英国では、<u>感染症の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は弱い動きとなっている。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれる。</u>また、金融資本市場の変動、EU離脱等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>英国では、<u>景気は、感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</u> 先行きについては、<u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>

(注) 下線部は先月から変更した部分。